



こんな時、 あなたはどう動く？

近年、全国各地で台風や雨風の被害が多発しており、有田市も例外ではありません。
特に、令和5年に有田市を襲った、線状降水帯による浸水被害は記憶に新しいところです。
災害が発生するとき、「いつ」「どこに」避難するか事前に確認しておくことが重要です。

避難のタイミングはレベルで判断！

令和8年5月29日から、気象台が発表する「防災気象情報」が新たな運用に切り替わっています。
「大雨」「河川氾濫」「土砂災害」「高潮」の4区分が、レベルを付けて発表されるので、より直感的に判断できるようになりました。
5段階のレベルに合わせて、取るべき行動を確認しておきましょう。



気象庁
ホームページ

レベル 1 早期注意 情報

テレビやラジオ、インターネット等で最新の情報を入手し、今後の気象情報に注意しておきましょう

レベル 2 大雨 注意報

いつでも避難できるよう
持ち物や避難ルートなどを
確認しておきましょう

レベル 3 大雨警報

避難に備えて準備！
「高齢者等避難」が発表
されたら、移動に時間か
かる方は避難開始！

レベル 4 大雨危険 警報

危険な場所から
必ず避難を！

レベル4までに
全員避難！

レベル 5 大雨特別 警報

命の危険が
迫っている状態。
身の安全を確保！



情報を入手する

最新の情報をリアルタイムに入手できるように、各種サービスを活用しましょう。



- 市民メールサービス
防災・防犯・行政情報を
メールで確認できます



- 防災アプリ
ライフビジョン
無線放送の内容を音声と
文字で確認できます



- 防災わかやま
避難情報や気象警報、
雨量、河川の水位など
を確認できます

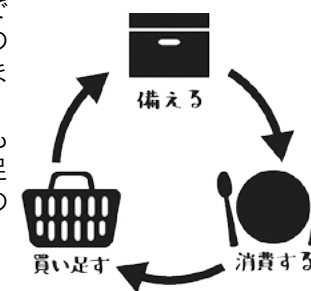


- 気象庁 キキクル
「土砂災害」「浸水害」「洪水
災害」の危険度を色付きの
地図で確認できます



備えの確認

- ・年に一度は家庭で
備蓄している物資の
棚卸しをしておしま
しょう。
- ・賞味期限の近いも
のは消費し、買い足
しておく、もしもの
時にも安心です。



押さえておきたい

- ・家の近くの危険な場所は？
 - ・地域にある避難所はどこ？
 - ・避難所までのルートに危険な場所は？
- ハザードマップで事前に確認しておきましょう！



市ホームページ
防災計画・マップ

